

アドバンス・ケア・プランニング (ACP)

の事例となります。

ACPについての事前資料

目を通しておいてください



アドバンス・ケア・プランニング

将来の自己決定能力の低下に備えて 今後の治療・療養についての気がかりや価値観 を<u>患者・家族と医療従事者が共有</u> しケアを計画する包括的なプロセス



いつ・誰が・どこでやっても構わない



自分らしく「生ききる」サポート



医療者目線ではなく

患者目線の治療・ケア









アドバンスケアプランニングとは

「将来の変化に備え、ご家族や大切な方と、 医療、介護従事者が一緒に、人生観や価値観、 希望に沿った医療やケアなどを話し合う」ことです。

昭和・平成・令和と時代が変わっていくように、私たち自身もいろんなこと が変化します。いつまでもこのままでと願ってもいても、歳を重ねると私た ちの身体や認知機能は衰えます。それに加えて、病や事故、災害は突然やっ てきます。急な病気や事故に遭遇したとしても、自分らしく穏やかに生きき るために、あなたの大切にしていることや、受けたい医療やケア、どこで過

は変わります。

今決めることが重要ではなく、思いを伝えておくことが大切です。 あなたの思いを信頼できる人と共有して記録に残していれば、あなたの望む 医療やケアの方向性を考えることができます。

ごしたいのかを考え、周囲の人や医療者に伝えておきましょう。人の気持ち

一度きりではなく病気になった時、介護が必要になった時、 人生の節目(誕生日・お正月・親戚が集まった時など)に何度も繰り返し考 え話し合うことが大切です

家族や大切な人とステップ1・2を語りあってみてはどうでしょう。 治療ケアを受けている人は医療者とも語り合ってみましょう

ステップ1 🥐

●あなたのことを教えてください

- ご家族は?
- 仕事は?
- ・趣味や楽しみは?
- 大切なもの?
- ・大切な人に話しておきたいことは?
- ・人生において支えになった人、出来事はありますか?
- あなたの人生において、特に記憶に残っていることや 大切だと考える事はどんな事ですか?

ステップ3

●身体のことを教えてください

- 身体のことで気がかりなこと?
- 病状説明はどうしてほしい?
- ・受ける治療に対する希望は?
- ・現在治療中または経過観察中の病気は?
- ・医師からどのような説明を受けている?
- ・介護が必要になった時どこで療養したい?
- ・突然事故や脳出血で生命が危ぶまれる状況になった時 延命処置をどうするか考えておいてください

ステップ2

あなたの人生にとって幸せと思うことは? と考えてみてください。例えば・・・・

- 口楽しみや喜びにつながることがあること
- 口身の回りのことが自分でできること
- 口人として大切にされること
- 口社会や家族の中で役割が果たせること
- 口痛みや苦しみが少なく過ごせること
- 口人の迷惑にならないこと
- 口自然に近い形で過ごすこと

•

ステップ4 🥐

●後悔しない人生を送るために

- ・今現在気がかりなことはありますか?
- やりたいことはありますか?
- ・代理決定者について

あなたのことを信頼して任せられる人、

あなたのことを一番わかってくれていてもしもの時に 判断してくれる人はいますか?

代理決定者氏名

関係性

選んだ理由

第26回布施緩和ケア研修会

Keyword



一つ一つの項目において なぜそう思うのですか?

その人らしさを知るためにはなぜが大事

目標

「その人らしく生ききること」 を医療者として支える

症状や病気に焦点を当てるのではなく 「その人自身」に関心を寄せて 対話する

意思疎通が困難な場合はご家族・大切な人 家族としてどう思うではなく 本人だったらどう思うとおもう? 本人だったら・・・の思いを代弁してもら



■ 冊子を渡して書いてくださいは絶対ダメ

▲ 冊子をうめる目的にしてはダメ

冊子はツールとして活用 (大切な人や医療従事者と一緒の行う) その人らしさを知ることから始まる

その人の思いを知る

▲ ACPはどう生きるかのケア

▲ 治療や患者状況が変わるたびに思いを確認

それぞれの聞いた思いをつなぐ

大阪府のACPの取り組み情報

第26回布施緩和ケア研修会

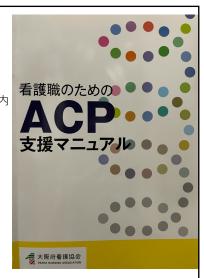
5



★大阪府看護協会 ACP支援マニュアル作成

大阪府看護協会ホームページ内 ACP特設サイト

> 大阪らしく ACPが「あるとき」 「ないとき」 事例が書いています



第26回布施緩和ケア研修会